

第1回 横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート（CNP）形成推進会議
議事概要

会議概要

日時：令和3年7月15日(木) 16:30~17:30
会場：関東地方整備局 141・142 会議室

議事内容

○事務局から説明

- ・CNPの最近の動向について
- ・横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート（CNP）形成推進会議について
- ・各WGの検討事項等について

○横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート（CNP）形成推進会議について

- ・横浜港・川崎港において、水素、アンモニア等の次世代エネルギー利活用の需要と供給体制を一体的に創出するとともに、港湾機能の高度化や臨海部における環境に配慮した産業の集積を図る「カーボンニュートラルポート」の形成に向け、横浜港・川崎港及び全国的な取組状況の情報共有やCNP形成に向けた具体的な取組の検討を深化させることを目的に、「横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート（CNP）形成推進会議」（以下「推進会議」という）を立ち上げる。
- ・推進会議に、横浜港・川崎港のCNP形成に向けた取組の実務上の検討を行うため、「モビリティWG」、「燃料サプライチェーンWG」、「新産業WG」を設置する。
- ・各WGには、推進会議構成メンバーの他、各テーマに応じた関係者（民間事業者）も参画する予定。

○各WGの検討事項等

- ・「モビリティWG」では港湾物流の脱炭素化に向けた取組として、船舶への陸上電力供給、港湾荷役機械への燃料電池導入、港湾施設への再生可能エネルギーや次世代エネルギーの導入等について検討する。
- ・「燃料サプライチェーンWG」では脱炭素燃料のサプライチェーンの構築に向けた取組として、水素・燃料アンモニア等の海上輸送、水素パイプラインの延伸、鉄道による水素輸送、次世代エネルギー輸出入・配送拠点となる港湾施設等について検討する。
- ・「新産業WG」では産業の脱炭素化に向けた取組として、発電所等での次世代エネルギーの混焼、メタネーションやバイオ燃料による脱炭素化、港湾・沿岸域空間の有効活用（ブルーカーボン）等について検討する。

以上